

感染トピックス 2020/8月号

2020/8/12 発行

7月号で掲載をしましたが、夏に多く流行する手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱等の発生率が例年に比べると随分減少しています。これもコロナウイルス感染症対策を皆さんが実施していることが大きく影響しているようです。

また、梅雨明けをした途端に暑い日が続いていますが、日々マスクを着用していることもあり、熱中症対策も怠らないようにお願いします。さらに、コロナ感染症との鑑別も難しくなるため症状観察を怠らないようにしましょう。



● 「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント

1) マスクの着用について

飛沫拡散防止予防で着用をお願いしていますが、着用していない場合と比べると、心拍数や呼吸数、血中二酸化炭素濃度、体感温度上昇など身体に負担がかかります。

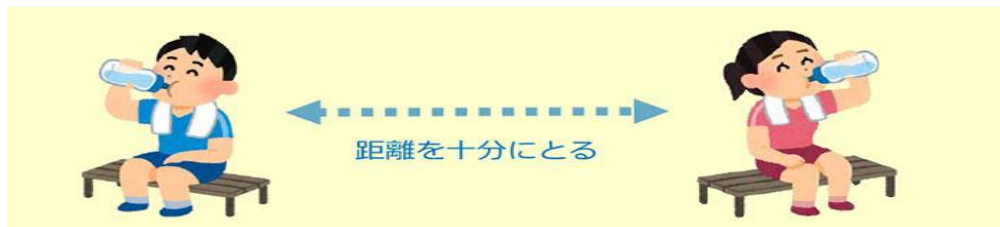
そのため、高温・多湿といった環境下では熱中症のリスクが高まります。

対策：屋外で人との距離が少なくとも2m以上を確保できればマスクを外すようにしましょう。

屋内でも周囲との距離が十分にとれていれば、一時的に外して休憩しましょう。

外したマスクは、環境に触れないようにティッシュペーパーに挟んで保管するとよいです。

マスクを着用する場合は、こまめに水分補給をこころがけましょう。



2) エアコンの使用について

一般的な家庭的エアコンは、空気を循環させるだけで換気を行っていません。新型コロナウイルス対策には冷房時でも窓を開放し、換気扇によって換気を行う必要があります。換気により室内温度が高くなりがちなので、温度設定を下げるなどの調整をしましょう。また、カビが発生しやすいので清掃点検を怠らないようにしましょう。

3) 涼しい場所への移動について

少しでも体調に異変を感じたら速やかに涼しいところに移動することが有効です。一方で、人数制限により屋内に入れられない場合もあると思いますが、その際は日陰や風通しの良い場所に移動しましょう。

● オンライン面会を行います。

患者様とご家族の良いコミュニケーションが図れ、安心した入院生活に繋がることを期待します。

事前予約制で1患者1週間に1回、面会時間は20分間です。

1日4組限定となり、場所は1階フロアの一角となります。

予約状況は、電子カルテの部門予約で確認できます。

